

令和5年度 授業改善推進プラン教科別計画 【国語科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	佐藤渉 長尾	①自身の伝えたい事を順序立てるなど、構成を工夫して書く能力。 ②自身の伝えたいことが相手に伝わるように説明や具体例を付け加える能力。 ③文章に表れているものの見方や考え方について自身の知識や体験と関連付けて考えをまとめる力。 ※生徒に行った授業アンケートでは、各項目が89～98%と概ね高い数値で推移しているため、ここではより具体的な能力に関する記述を行った。	①②文章を書く際には手引きを示す。順序立てて説明する際のパターンなどを繰り返し指導していく。また、互の作品を交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を設け、これからの自分の文章作成に生かす取り組みを行う。 ③マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり、交流活動の中で引き出しあったりする。	①②文章を書く際には手引きを示す。順序立てて説明する際のパターンなどを繰り返し指導していく。また、互の作品を交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を設け、これからの自分の文章作成に生かす取り組みを行う。 ③マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり、交流活動の中で引き出しあったりする。
2年	馬場	①漢字の読み書きや文法事項に関する基礎的な知識・技能の定着を図ること。 ②筋道立てて考える力、豊かに感じたり想像したりする力を養うこと。 ③自分の思いや考えを適切な言葉で表現し、伝え合おうとする態度を養うこと。	①漢字スキルや文法ワークを用いて小テストを行い、基礎的な知識の定着を図る。 ②根拠を押さえながら文章を丁寧に読み、單元ごとに振り返りを書かせる。ワークブックを用いて、既習事項の復習を行い、関連問題を解き、理解を深める。 ③自分の考えを発表する機会を増やす。授業での気づきを積極的にメモしていくよう指導する。	①小テストの内容を定期考査につなげ、復習の機会を増やす。語彙を豊かにするために、引き続き読書活動の推進を図っていく。 ②教科書や関連の文章を読み、学習した内容を日常生活と結び付けて考えさせる。 ③世の中の出来事に関心をもたせる。積極的に相互交流の場に臨み、さまざまな意見に触れ、自分の考えを広げ深めていけるようにする。
3年	佐藤美奈	①漢字の読み書きや文法事項、語彙などの国語の基礎的・基本的な力を定着させること。 ②適切な言葉を選んだり構成を工夫したりして、相手に伝わる文章を書くこと。 ③様々な文章を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしていくこと。	①授業開始時に既習の漢字小テストを行う。授業で国語辞典を活用し、言葉の意味や活用例を理解させる。 ②自分の意見を話したり書いたりするときに、根拠を明確にして表現するよう意識させる。相手が納得する根拠を用いて表現できるようにする。 ③教科書教材に関連する文章を合わせて読む活動を通して様々な分野の知識を増やす。文章に表れているものの見方や考え方と自分の考えを比較すること、自分の考えと友達の考えを比較する活動を取り入れる。	①小テストを継続していく。類義語・対義語やことわざ・慣用句など、言葉の基礎知識の定着を図っていく。 ②自分の考えを表現する機会を多く設定することで、明確な根拠をもとに自分の意見を述べる力を身に付けていく。 ③人間、社会、自然などについて、より広い視野をもって自分の意見を形成することを通して高校受験に対応できる国語力を身に付ける。